

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。  
 詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2020年5月13日、ナノキャリア株式会社は、2020年3月期通期決算を発表した。

四半期累計 (百万円)	19年3月期				20年3月期				20年3月期 (進捗率) 通期会予	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q		
売上高	42	218	336	497	146	294	435	553	100.2%	552
前年比	18.1%	209.0%	142.0%	91.7%	247.8%	34.7%	29.6%	11.3%		11.1%
売上総利益	22	177	276	417	125	239	362	475		
前年比	-1.7%	262.8%	180.7%	118.0%	462.4%	35.0%	31.1%	14.0%		
売上総利益率	53.1%	81.2%	82.2%	83.9%	85.8%	81.4%	83.2%	85.9%		
販管費	663	1,106	1,750	2,219	625	923	1,295	1,581		
前年比	-48.4%	-48.1%	-63.5%	-60.0%	-5.7%	-16.5%	-26.0%	-28.8%		
売上高販管費比率	-	-	-	-	-	-	-	-		
営業利益	-641	-928	-1,473	-1,802	-499	-684	-932	-1,106	-	-1,143
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-		
営業利益率	-	-	-	-	-	-	-	-		
経常利益	-636	-911	-1,461	-1,774	-540	-734	-969	-1,144	-	-1,182
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-		
経常利益率	-	-	-	-	-	-	-	-		
四半期純利益	-637	-910	-1,460	-1,809	-446	-897	-1,137	-2,010	-	-2,047
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-		
四半期利益率	-	-	-	-	-	-	-	-		

  

四半期 (百万円)	19年3月期				20年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	42	176	118	161	146	147	142	118
前年比	18.1%	403.5%	72.8%	33.7%	247.8%	-16.2%	20.1%	-26.8%
売上総利益	22	155	99	141	125	114	123	113
前年比	-1.7%	492.6%	99.9%	51.5%	462.4%	-26.6%	24.2%	-19.8%
売上総利益率	53.1%	88.0%	84.1%	87.4%	85.8%	77.0%	86.9%	95.8%
販管費	663	443	644	469	625	298	372	286
前年比	-48.4%	-47.6%	-75.8%	-37.2%	-5.7%	-32.7%	-42.3%	-39.0%
売上高販管費比率	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益	-641	-288	-545	-329	-499	-184	-248	-173
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益率	-	-	-	-	-	-	-	-
経常利益	-636	-275	-549	-314	-540	-194	-235	-175
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-
経常利益率	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期純利益	-637	-273	-550	-348	-446	-450	-241	-873
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期利益率	-	-	-	-	-	-	-	-

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

\*会社予想は直近の値。

\*前年比が100%を超える場合は-として表示。

## 販売費及び一般管理費の内訳

四半期累計 (百万円)	19年3月期				20年3月期			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q
研究開発費	532	879	1,424	1,793	492	695	957	
前年比	-53.5%	-52.5%	-67.4%	-64.0%	-7.6%	-21.0%	-32.8%	
研究開発費を除く販管費	131	226	325	426	133	228	337	
前年比	-6.6%	-18.2%	-22.5%	-24.3%	1.6%	0.8%	3.7%	

  

四半期 (百万円)	19年3月期				20年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
研究開発費	532	347	545	369	492	203	263	
前年比	-53.5%	-51.0%	-78.4%	-38.9%	-7.6%	-41.5%	-51.8%	
研究開発費を除く販管費	131	95	99	101	133	95	109	
前年比	-6.6%	-30.1%	-30.8%	-29.7%	1.6%	-0.4%	10.2%	

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

## 2020年3月期通期累計期間実績

- ▷ 売上高：553百万円（前期比11.3%増）
- ▷ 営業損失：1,106百万円（前期は営業損失1,802百万円）
- ▷ 経常損失：1,144百万円（前期は経常損失1,774百万円）

▷ 当期純損失：2,010百万円（前期は当期純損失1,809百万円）

## 主要パイプラインの進捗状況

### シスプラチンミセル（NC-6004）

ライセンス先であるOrient Europharma Co. Ltd.（以下、OEP社）と共同でグローバルに臨床試験を推進している。

欧米地域において、頭頸部がんを対象にNC-6004と免疫チェックポイント阻害剤「キイトルーダ®」との併用による第II相臨床試験として2019年7月に投与を開始した。

日本を含むアジア地域において実施している膵がんを対象とした第III相臨床試験については、2019年12月、併用薬であるゲムシタピンが膵がん治療の第一選択薬ではなくなったことを鑑み、日本国内において同試験に基づく製造販売承認申請は行わないことを決定した。なお、国内データによると、NC-6004併用による生存期間の延長は示唆されており、将来的な国内開発の可能性について引き続き検討する。

### エピルビシンミセル（NC-6300）

米国で軟部肉腫を対象に第I/II相臨床試験を実施している。対象疾患として第I相パート試験で有効性が示唆された軟部肉腫の一種である血管肉腫にターゲットを絞り、有効性及び安全性を確認する拡大試験（expansion cohort）の実施を決定し、2019年10月に投与を開始した。同剤はFDAよりオーファンドラッグの指定を受けている。

### パクリタキセルミセル（NK105）

日本を含むアジア地域を対象としたライセンス先である日本化薬株式会社（東証1部4272）から、乳がんを対象に第II相臨床試験を実施中の旨が発表されている。

## 導入パイプラインの進捗状況

### 遺伝子治療薬「VB-111」

2017年11月にVascular Biogenics Ltd.（イスラエル、以下VBL）から国内の開発および販売権に関するライセンスを受けた遺伝子治療薬「VB-111」について、同社が米国を中心にプラチナ耐性卵巣がんの国際共同第III相臨床試験（OVAL試験）を実施している。同パイプラインの国内開発に関し、遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（カルタヘナ法）に基づく第一種使用規定の厚生労働大臣・環境大臣連名による承認を取得した。2020年3月に、VBLが実施中のOVAL試験に関して、第三者委員会による中間解析において試験継続が推奨された旨が、VBLから発表された。これを踏まえ、同社はOVAL試験に日本から参画する方針を決定し、国内治験開始に向けた各種準備を進めた。

### 耳鼻科領域における新医薬品等の開発候補品（ENT103）

セオリアファーマ株式会社との間で共同開発を行っている耳鼻咽喉科領域における開発候補品（ENT103）については、国内において中耳炎を対象とした第III相臨床試験を実施しており、2019年5月に登録を開始した。同剤は抗がん剤の開発と比較し短期間での製造販売承認取得を期待できるが、対象患者が例年より少なかったことや新型コロナウイルスの影響等により患者登録が同社の想定を下回り、試験期間の延長を見込む。

### Acti-PRP（血球細胞分離機）

2019年4月、株式会社エイオンインターナショナルから「Acti-PRP（血球細胞分離機）」の国内販売権を取得した。多血小板血漿（PRP）は細胞の成長を促す豊富な成長因子を含み、局所に注入することで組織の修復などを促す。PRPを用いた治療は整形外科領域などで行われているが、同社は婦人科領域における不妊治療への応用として、産婦人科PRP研究会の会員施設に対し「Acti-PRP」を販売し、あわせて臨床研究を実施している。再生医療分野にも着手し、国内初の新規事業として展開する。

## 新規開発パイプラインの進捗状況

同社独自の先進基盤技術である抗体/薬物結合型ミセル「ADCM (Antibody/Drug-Conjugated Micelle)」を次世代型DDS医薬品技術として開発を推進している。薬物を内包しセンサーとなる抗体を結合したActive型ミセル化ナノ粒子は標的とする細胞へのターゲティング性能を高めることが期待されている。

また、技術進化として新規センサーの検討に向けた共同研究なども実施しており、ADCMの最適化やさらなる発展を目指している。JCRファーマ株式会社と脳内デリバリー創薬に関する共同研究契約を締結し、同社のADCM技術や、JCRファーマ社が有する脳内に薬剤を届けるための独自技術であるJ-Brain Cargo® (血液脳関門通過技術) など、両社が持つ技術や知見を融合し、革新的な脳内デリバリー医薬品の実現を目指した共同研究を推進している。

## 事業開発の状況

2019年5月、主要パイプラインであるNC-6004の推進において、OEPとの協力体制を確保し業務提携内容の拡充を図るために、OEPの100%子会社であるCyntec Co., Ltd.へ同社普通株式705,800株を割り当てる第三者割当増資を行った。

また、2019年4月、株式会社エイオンインターナショナルとの間で「Acti-PRP」の国内販売代理店契約を締結し、販売を開始した。

## 化粧品事業の状況

アルピオン社が販売する美容液エクラフチュールおよび薬用美白美容液エクシアALホワイトニングイマキュレートエッセンスIDD用の原材料を供給している。また、アルピオン社との共同開発製品であるスカルプトータルケア製品「Depth」のインターネット販売および美容室でのカウンセリング販売を行っている。

化粧品開発における皮膚浸透性の研究から、皮膚科領域における医薬品開発の可能性を見いだし、今後、皮膚科領域での医薬品にも応用展開を目指す。

## 今期会社予想

今期会社予想 (百万円)	20年3月期		21年3月期	
	上期実績	下期実績	通期実績	通期会予
<b>売上高</b>	<b>294</b>	<b>259</b>	<b>553</b>	<b>338</b>
前年比	34.7%	-7.0%	11.3%	-38.9%
売上原価	55	23	78	
<b>売上総利益</b>	<b>239</b>	<b>236</b>	<b>475</b>	
前年比	35.0%	-1.6%	14.0%	
売上総利益率	81.4%	91.0%	85.9%	
販売費及び一般管理費	923	658	1,581	
<b>営業利益</b>	<b>-684</b>	<b>-422</b>	<b>-1,106</b>	<b>-1,495</b>
前年比	-	-	-	
営業利益率	-	-	-	
<b>経常利益</b>	<b>-734</b>	<b>-411</b>	<b>-1,144</b>	<b>-1,496</b>
前年比	-	-	-	
経常利益率	-	-	-	
<b>当期純利益</b>	<b>-897</b>	<b>-1,113</b>	<b>-2,010</b>	<b>-1,490</b>
前年比	-	-	-	

出所：会社データよりSR社作成

2021年3月の会社予想は、売上高338百万円（前期比38.9%減）、営業損失1,495百万円（前期は営業損失1,106百万円）、経常損失1,496百万円（前期は経常損失1,144百万円）、当期純損失1,490百万円（前期は当期純損失2,010百万円）としている。研究開発費は1,242百万円を見込む。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

## ディスクレーマー

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

## 金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

## 連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.  
東京都文京区千駄木3-31-12  
HP: <https://sharedresearch.jp>  
TEL : (03)5834-8787  
Email: [info@sharedresearch.jp](mailto:info@sharedresearch.jp)